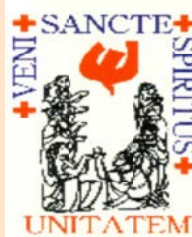


2017年3月5日 (第177号)
 発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
 〒760-0074 高松市桜町1-8-9
 TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
 Email
 教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
 広報: tk-koho@mxi.netwave.or.jp
 生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp
 WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



マザーテレサの遺業
 パンの形の中にキリストを見るように努めながら、わたしたちは一日を始めます。
 日中は、貧しい人々の疲れた体の中におられるキリストに出会うために出かけます。

カトリック高松教区報

高松教区 諏訪榮治郎司教



ペトロ教授が記していた、「知られていない人びと」の墓碑はすぐ見つかりました。それはしっかりと漆喰で固められていました。その中に右近の遺骨が安置されて居るのでしょう。

ある朝「高山右近の遺骨見つかる」という新聞の大きな見出しが目につけてきました。私はマニラを訪ねた。右近研究家ベトロ教授(トマス大学)の記事でした。

福者となられたユスト高山右近の存在はカトリック教会のみならず、日本の社会に大きな意味をもたらすことになると思います。それは教会のみならず、日本人のもつ感性が福音との橋渡しとなつて新しい福音宣教の実

多数の遺骨が進び出さ「右近様、あなたが愛した高槻の町に、

キリスト者として生きる意味を深く分かった方



高山右近像 (画: 三牧樺子)

りへと導かれることを感じるからです。

神の息吹を頂きながらの人の営みも文化も、会修練院に収められた

きつと豊かな福音を生きる道であろうと、福者右近様を見つめながら強く感じたいです。

さて個人的な話ですが、フィリピン人民によってマルコス大統領が、国外追放された、いわ

れ、その中に右近の骨も混じっていたに違い感じられます。弱い立場に置かれた人びとの味方となって取り次いでくださる方と確信しております。

私はこれから帰ります。あなたはこの地にとどまられるのですが、どうぞ日本の教会のために祈ってください。

あなたの名を呼ぶ多く人びとのためにどうぞ取り次いで下さい

福者となられた右近様は、私にとって以前より近い存在として感じられます。弱い立場に置かれた人びとの味方となって取り次いでくださる方と確信しております。

小豆島の信徒も高山右近の列福を祝う

1000人の大聖歌隊 力強く生きた信仰をたたえる



高山右近の聖遺物と肖像画の祝別に向かう直前

地区のカトリック学校と、公募での1千人にものぼるメンバーで編成された大聖歌隊が、京都市の洛星中学校・高等学校、ノートルダム学院中学校・高等学校生徒のオーケストラによる奉仕によって、より一層、荘厳で喜びに満ちた列福式となるよう支えた。

2月7日、大阪城ホールにおいて、「ユスト高山右近の列福式」が1万人が参列する中で盛大に執り行われた。列福式は教皇代理のアンジェロ・アマート枢機卿(教皇庁列聖省長官)が主司式した。高松教区からは四国四県、特に高山右近とかわりか深い小豆島の信徒を含む多くの信徒が参列し、ユスト高山右近の列福を喜び合った。

当日は寒さが厳しく、雪もちらついていたが、全国から集まってきた人たちの中には、早々と入場を待つ列を作る光景も見られた。正午からの開式のた、貸し切りバスを仕

立て、遠く愛媛県・宇和島の信徒は前日から高山に宿泊し、当日早朝5時に、貸し切りバスで出発し、列福式の恵みの喜びを先取りしていた。列福式では、主司式者・教皇代理アンジェロ・アマート枢機卿の他、フィリピンからルイス・アントニオ・タグレ枢機卿、駐日教皇庁大使チェノツトゥ大司教、韓国、ベトナム、ルクセンブルクと日本司教団の大司教、司教30人と、300人の司祭による共同司式ミサとなり、式文は主にラテン語が用いられ、日本語では稀に見る式となった。

高松教区助祭・司祭叙階式

司 式 使徒ヨハネ 諏訪榮治郎司教
 受階者 ヨゼフ・ゴ・ヴァン・ティン助祭
 アジジのフランシスコ高山徹神学生
 日時 2017年3月20日 (月) 午後1時30分
 場所 カテドラル (桜町教会)

め根付かせるものであったことを確認しました。した人々の表情は喜び列福式は滞りなく進められ、予定より早く



高松教区信徒巡礼者団席から見た式場のようす

はばたき

大天使ガブリエルの受胎の告知は、マリアにとつて大きな驚きだったことでしょう。天使の説明があったとはいえ、未来のことは隠されていて、彼女は自分が一つの神秘の前に立たされていることが苦しみで満ちたものであることを直感されたことでしょう。

彼女は救い主が、人類の救いのために犠牲となる苦しみの人であることを、聖書によって知っていました。それは死刑囚の母となることを承諾するのと同じでした。また、彼女自身、人々の目から見れば「姦通の女」として蔑まれることとなるのです。

大事なことは、世間がどう見ようが、また、宗教のきまりから「罪人」あつかいされようが、痛みを知る底辺に立たされた人々によって救いの歴史は支えられ、押し進められていくと聖書は告げているのだと思います。

マリアは馬小屋で出産しなければなりませんでしたが、主の誕生の喜びを最初に知らされたのは蔑まれていた羊飼いたちでした。

神はいつも貧しい人、弱い立場の人たちと共におられるのです。マリアに倣って、小さくされ、仕える者こそ、最終的には世に打ち勝ち、イエスの救いのみ業に協力できる者となるでしょう。この春、司祭に叙階されるヨセフさんと、助祭になられる高山さんに感謝するとともに、主と聖母の祝福があるようにと祈ります。

◇お生まれと家族についてお聞かせください。

私が生まれたのは、スペインのパンプローナ教区にあるガルバローナという300人ほどの小さな村です。

父は山から木を切り出して炭を作り、近隣の工場に卸して、生計を立てていました。

母も生活に困らないほどの小麦や野菜を自家栽培し、私もよく手伝いました。

男ばかりの5人兄弟ですが、私の1つ上の兄は小さい時に亡くなりました。

当時は生まれた翌日には洗礼を受けていたが、私が生まれた日は大雪で、母はその寒さから私を守るために1週間後に受洗させたそうです。

◇幼い時の思い出についてはどうですか。司祭召命のきっかけは。

6歳のころには、もう司祭へのあこがれが芽生えていたように思います。

年を経て、あるご公現の祝日の説教で、博士たちを導いた星の話にインスピレーションが働き、自分の使命は人々を神様に導く星のような宣教司祭となることだと思ふようになりました。

小学校を卒業すると周りは教区神学校や修道会を志願する仲間が大勢いて、私も教区神学校入学を希望しました。

しかし、ちょうどそのころ、家族全員がマルタの熱(スペイン風邪)に侵され、その年には神学校入学は叶わず、1年遅れとなりました。

晴れて入学し、高校を終えて哲学を学ぶころには宣教教師への憧れが増していました。

霊性を深めるための1年を挟んで神学を修めましたが、途中21歳で、やはり宣教教会であるブルゴ

事です。叙階式は、自分の家からの行列で始まり、2人の助祭仲間とともに、洗礼、堅信、聖体の秘跡を受け、生まれ育った自分の小教区聖堂であるペトロ教会で執り行ってもらったことが、大きな喜びの思い出となっています。

◇日本に赴任することについて不安はありませんでしたか。

ある先輩から日本のある先輩から日本のことを聞いていたので、日本へ行きたいとは思っていません。叙階後、3年ほど、アメリカで働きながら、英語を学んだあ

ことを聞いていたので、日本へ行きたいとは思っていません。叙階後、3年ほど、アメリカで働きながら、英語を学んだあ

ことを聞いていたので、日本へ行きたいとは思っていません。叙階後、3年ほど、アメリカで働きながら、英語を学んだあ

司祭紹介

西讃ブロック 丸亀・善通寺教会担当司祭

デシデリオ・カンバラ師



貧しく弱い人のために働く

私が司祭になるなら「良い神父になりたい」と、父はいつも、そう言うたのでしょね。

「良い神父になりたい」と、父はいつも、そう言うたのでしょね。そこで奉仕できること、本当に大きな喜びです。そして、今でも、その人々からいろいろな恵みと力をもたらしていることを感じ、神のいつくしみのおかげで宣教活動ができています。

◇ところで、聖書のことばで一番好きな言葉は

「あなた方も喜びなさい。わたしとともに喜びなさい。」(フィリ2:18)という箇所です。

キリストがともにいてくださる喜び、私たちの喜びから、力を汲むことができるからです。これからも与えられた使命を、主が共にいてくださる中で果たしていきたいと思っています。

大変だった日本語の習得

か、一緒に日本に来たフェルナンド師からの勧めで、私たちの育ててくれました。東京の杉並区のある家庭に受け入れてもらって、日本語を学んだあ

日本人は勤勉で、まじめで、きれいな好きで、とてもいい国民性を持っていて、私もそう思います。

◇司祭となって、どんな喜びがありましたか

四国に赴任してから、その宣教教会の精神の中で、世間の谷間の底で苦しむ

人々のために、信徒と協力して、在宅の「さわやか会」というボランティアグループをつくりまし

たのでしょね。父はいつも、そう言うたのでしょね。

そこで奉仕できること、本当に大きな喜びです。そして、今でも、その人々からいろいろな恵みと力をもたらしていることを感じ、神のいつくしみのおかげで宣教活動ができています。

◇ところで、聖書のことばで一番好きな言葉は

「あなた方も喜びなさい。わたしとともに喜びなさい。」(フィリ2:18)という箇所です。

キリストがともにいてくださる喜び、私たちの喜びから、力を汲むことができるからです。これからも与えられた使命を、主が共にいてくださる中で果たしていきたいと思っています。

キリストがともにいてくださる喜び、私たちの喜びから、力を汲むことができるからです。これからも与えられた使命を、主が共にいてくださる中で果たしていきたいと思っています。

キリストがともにいてくださる喜び、私たちの喜びから、力を汲むことができるからです。これからも与えられた使命を、主が共にいてくださる中で果たしていきたいと思っています。

キリストがともにいてくださる喜び、私たちの喜びから、力を汲むことができるからです。これからも与えられた使命を、主が共にいてくださる中で果たしていきたいと思っています。

キリストがともにいてくださる喜び、私たちの喜びから、力を汲むことができるからです。これからも与えられた使命を、主が共にいてくださる中で果たしていきたいと思っています。

キリストがともにいてくださる喜び、私たちの喜びから、力を汲むことができるからです。これからも与えられた使命を、主が共にいてくださる中で果たしていきたいと思っています。

キリストがともにいてくださる喜び、私たちの喜びから、力を汲むことができるからです。これからも与えられた使命を、主が共にいてくださる中で果たしていきたいと思っています。

キリストがともにいてくださる喜び、私たちの喜びから、力を汲むことができるからです。これからも与えられた使命を、主が共にいてくださる中で果たしていきたいと思っています。

聖母子の刺繍画贈る 八幡浜教会 ベトナムの女性



ベトナム風巻きやベトナム風カネー、セ

ベトナム風巻きは、信徒会にベトナム風巻きやベトナム風カネー、セ

ベトナム風巻きは、信徒会にベトナム風巻きやベトナム風カネー、セ

ベトナム風巻きは、信徒会にベトナム風巻きやベトナム風カネー、セ

ベトナム風巻きは、信徒会にベトナム風巻きやベトナム風カネー、セ

ベトナム風巻きは、信徒会にベトナム風巻きやベトナム風カネー、セ

ベトナム風巻きは、信徒会にベトナム風巻きやベトナム風カネー、セ

ベトナム風巻きは、信徒会にベトナム風巻きやベトナム風カネー、セ

ベトナム風巻きは、信徒会にベトナム風巻きやベトナム風カネー、セ

ベトナム風巻きは、信徒会にベトナム風巻きやベトナム風カネー、セ

ベトナム風巻きは、信徒会にベトナム風巻きやベトナム風カネー、セ

ささげられた教会で、平成29年には創立80周年を迎える。港町の船員らの祈りの場を守り続けることにも、新しい外国人への役割を果たしている。日本人の信者数の減少は他教会と変わらないが、神のみ旨は常に新しい道を示しているのではないだろうか。

信者会代表 西園寺良徳

ベトナムからの研修生や栗之浦ドックで働くフィリピン青年らと

ベトナムからの研修生や栗之浦ドックで働くフィリピン青年らと

ベトナムからの研修生や栗之浦ドックで働くフィリピン青年らと

ベトナムからの研修生や栗之浦ドックで働くフィリピン青年らと

ベトナムからの研修生や栗之浦ドックで働くフィリピン青年らと

ベトナムからの研修生や栗之浦ドックで働くフィリピン青年らと

ベトナムからの研修生や栗之浦ドックで働くフィリピン青年らと

ベトナムからの研修生や栗之浦ドックで働くフィリピン青年らと

ベトナムからの研修生や栗之浦ドックで働くフィリピン青年らと

ベトナムからの研修生や栗之浦ドックで働くフィリピン青年らと

ベトナムからの研修生や栗之浦ドックで働くフィリピン青年らと

『典礼奉仕』のために (28)

やさしく学ぶ感謝の祭儀 その1

入祭 『復活されたキリストを迎える』

高松教区典礼委員長 谷口広海

今回から、白浜満司教様が記された『典礼を優しく学ぼう』という解説を連載していきます。

ミサの神秘を理解するのは難しいと考えられている方にとっては、優しく解き明かされ、「目からうろこ」となること請け合いです。

さて、入祭から見て参りましょう。

入祭の歌を歌いながら司祭を迎える時、司祭を通して神の民(教会)の集会の中で働かれる「復活されたキリストを迎える」という意識を決して忘れないようにしたいものです。

何故ならイエスは「2人または3人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいる」と約束してくださっているからです。

司祭と奉仕者は祭壇の前に着くと、手を合わせて深く礼をしますが、このような祭壇への表敬はキリストが天の神殿の生きた祭壇に例えられる(ヘブライ13・20)ように、祭壇はキリストの現存のシンボルであり、司祭がキリストの代理者として、キリストと神の民に奉仕するものであることを表しています。

マタイ28章19節のギリシヤ語原文を調べてみると、「父と子と聖霊のみ名によって」という言葉には、「三位一体の交わり(生命)に入っていく」という、洗礼の恵みによって始まったキリスト者の究極的な目的が示されていることになりま

この対話を唱えながら、私たちは、神の民の中にキリストが現存しておられ、ミサのあらゆる行為が「キリストによって、キリストと共に、キリストのうちに」行われるのです。

実際にミサは、キリストの行為であり、同時にキリストに結ばれ、キリストに奉仕する神の民の行為だからです。(『ミサ典礼書の総則』I参照)



再び・・・生涯養成委員会

生涯養成委員会担当 松浦信行

教会の大部分の主体である信徒、5番目の教

昔、こんなテレビのCMがありました。「お父さん、なぜ雨は上から降るの？」「下から降れば力がさげないからさ。」なるほどというように子供はそれに納得するわけですが、でもその答は、子供に対してであって大人にも同じ答をしてほっぽをむかれてしまいます。その人の成長に合わせて、その人の心に合わせて答が違っていくものなのではないでしょうか。

教会の信仰も同じ事が言えます。その人の環境や時代に合わせて、信仰への光の当て方が変わっていくものなのです。D・ボッシュという人の「宣教のパラダイム転換」という本があります。その中には、マタイ・マルコ・ルカ・ヨハネそれぞれの福音書が生み出された教会共同体で、イエスの時代からの伝統だけでは解決しえない課題に直面し、それぞれの共同体がイエスの生き方を中心としてその観点が、福音書となったというようになると書かれています。

キリストの心で生きる 生活の真っ只中で自分を考える

高松教区に赴任しました。そして諏訪司様から頂いた役割の1つにこの生涯養成委員会の再立ち上げがあったのです。何時もはスロースターターなのですが、今回はそのペースを速めようと思っています。

この課題の解決を各自の生活の真っ只中で出来るようになることが、養成の目的となるという方向性です。



スタート間もない養成講座風景

③高松教区では

- 1 「谷間」に置かれた人々の心を生きたる教会
- 2 「交わり」の教会
- 3 共同責任を担い合い、協働する教会
- 4 聖霊の導きを識別しながらともに歩む教会
- 5 司祭・修道者との協力を重視しながら、信徒の役割と責任(使命)を前面に出す教会です。

これからの結果を踏まえ、今年からの歩みを思い描いてみました。

①大阪教区の新生計画の底にあるもの

まずベースにあったのが、大阪教区での体験です。22年前の阪神淡路大

②将来を見据えた教会観

以上の動きを続ける中

職使用版にぴったりと合っているようです。

1の教会とは何かは、人々の現実生活の中にあるイエスとの出会いの原体験を深めるダイナミックメモリーの中に。

2の信徒の役割は、聖書の中のイエスの招きを自分とのものとするセブンステップの中に。

3の奉仕の種類を考える時に、その奉仕によって人々の全体が見える集會祭儀司式の養成に。

4の奉仕の源泉の力リスマは、一人ひとりの持ち場でのキリスト者としての生活を生きる病者・高齢者・外国人の方々などと共に生きる中に。

5の教会共同体との繋がりで、すべてのキリスト者が呼び集められた神のいつくしみを体験し、そこから共同体として社会に一つになって向かう力の中に、司教様の思いが見えてくるわけです。

誰かが先生であり、誰もが生徒なのです。

沖縄の座り込みツアーに参加 無抵抗でゴボリ抜きにされる現実



座り込みの参加者

私は昨年の10月2日から6日まで、高松教区人権を考える委員会・正義と平和担当者として、沖縄の座り込みツアーに参加しました。

古の海は豊かな自然に恵まれ、マンクロープの林やサンゴ礁、ジュゴンが採食する藻場があります。

これは文化財の土器・石器が埋まっているため、一度破壊してしまふと取り返しがつかなくなりました。

高江周辺には「ブロッコリーの森」と言われる豊かな自然が広がり、沖縄にしかないヤンバルクイナやノクチゲラが生息しています。

この高江を囲むようにヘリパッドが建設されています。昼夜を問わず低空でオスプレイが飛び交うため住民は騒音に悩まされ、排出する熱風が豊かな森の自然環境を脅か

断された地です。ホームページでその資料を公開し、それぞれの小教区で行えるようにしていきたいと思えます。また、生涯養成委員会に、ご期待願えれば幸いです。

2年目に入る、生涯養成委員会に、ご期待願えれば幸いです。

脅かされる豊かな自然環境 不条理な連行に怒りと悲しみ

大城さんによると、問題は現在の普天間飛行場が危険なので辺野古に飛行場を移転するというところだけではない、辺野古には普天間飛行場にはなかつた軍の専用港を建設

私はこの不条理な悲しい怒りを、少しでも人々に伝えたいと思います。

高松教区 尾崎寿一



カトリックの幟を掲げた参加者



鏡開き風景

TSC便り

1月16日、気温-8度という厳寒の中で、大阪教会管区が復興支援拠点として開設した「地ノ森 いこいの家」で、開所5周年を記念してミサと祝賀式典が行われた。

記念ミサと祝賀の会

「地ノ森 いこいの家」5周年

続いて、「地ノ森 いこいの家」(ベース)で祝賀会が行われた。

本大震災で犠牲となつた方々、また苦しみの中で避難生活を強いられている方々のために、これからの支援を続けていくことが出来るように祈りと願いをささげたい。

このミサの中で、東日本大震災と翌日に被災22年を迎える阪神淡路大震災の犠牲者のために黙祷をささげた後、ベース長の菅原圭一氏の挨拶から始まり、平賀徹夫司教や関係者の祝辞の後、樽酒の鏡開きも行われた。



各地からお祝いに駆け付けた関係者や地元の人たち

子どもから容れられる先生が求められる

香川で聖母学園幼稚園教職員研修会

1月14日(土)観音寺教会にて、イルダヤラージュ神父による「カトリック幼稚園教職員のための人権教育について」の講演が行われました。

聖母学園の6園とマリノ幼稚園、合わせて約50名以上が参加しました。

初めの祈りの後、「わたしをおつかいください」の美しい歌声が教会に響きました。

講演は神父様の聖書朗読から始まり、「私があるあなたがたを愛したように互いに愛し合いなさい」、マタイによる福音書「天



イルダヤラージュ神父の講話を聞く教職員の方々

改めて考える機会を頂きました。

講演の途中で、風船と紙コップを使ったゲームが介され、机の上に紙コップを並べ、その中に風船を膨らませて、手を動かして飛ばすというゲームが行われました。

これは、子どもの持つ「先生たち一人ひとりに対して、風船は私たちがたどる道です」というメッセージを込められたものでした。

この紙コップは子ども、風船は私たちがたどる道です。これは、子どもの持つ「先生たち一人ひとりに対して、風船は私たちがたどる道です」というメッセージを込められたものでした。

熊本地震へ支援を

TSCでも支援を左記福岡教区の支援窓口と、カリタスジャパン、「熊本地震」緊急募金受け付け窓口へ直接に、個人あるいは団体での寄付をお願いいたします。(※3月末まで)

福岡教区
福岡中央銀行(平尾支店)口座番号(普通)1076206
加入者名・宗教法人カトリック福岡司教区
代表役員 宮原良治
送信者の名前のあとに「クマモトシンシンエンキ」と書いてください。
カリタスジャパン
郵便振替番号00170590079
加入者名・宗教法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン
通信欄に、「熊本地震」と明記ください。

TSC 高松教区サポートセンター
東日本大震災大船渡支援
献金入金票(会費券)
(12月8日3月25日分として)
9万705円
累計(2月25日現在)
1千707万1392円

新刊書籍紹介

『悠遠の人 高山右近』

悠遠の人 高山右近

選は、かいて信おはく家たン高山右近が、捨てて、捨ててきた先に見たものとは?

著者 塩見弘子(しおみ・ひろこ)
鹿児島生まれ。共立女子大学文学部英文科を卒業後、国内外の人物取材を中心に執筆。

A5判 並製 300頁
定価(本体1,300円+税)

『高山右近 歴史・人物ガイド ~その霊性をたどる旅』

高山右近

その霊性をたどる旅

洗国力信放り人生の歩み
血な生涯の晩年、高山右近、その信仰の歩み

血な生涯の晩年、高山右近、その信仰の歩み

ド・ボスコ社編集部 編
塩見弘子 大塚喜直 古巣馨 デ・ルカ・レンゾ 平林冬樹 関谷義樹 著

B5判 並製 オールカラー

神を観想し、その実りを人々に伝えよ

聖ドミニコ宣教修道女会

私たちは、自分を創造しようとするこどもをまなび、護りましょう

暁の星学園

鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園
阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園

編集後記

高山右近列福式も盛大に滞りなく執り行われ、今年もまた四旬節が始まりました。

アメリカ合衆国大統領選で勝利を収めたトランプ大統領は、これまで営々と築かれてきた良き価値観を、簡単にひっくり返し、北朝鮮の独裁政治もまた、世界に大きな不安をもたらしています。

昨年、「神のいつくしみ」の中で養われた私たちに、その出番が問われているような気がしてなりません。